

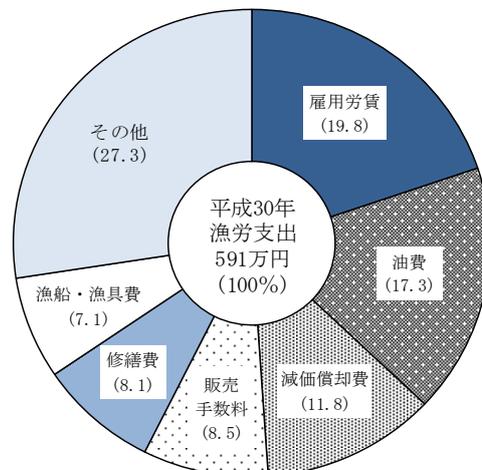
1 個人経営体（漁船漁業）

1 経営体当たり漁労収入は840万円で、漁獲量は増加したものの、価格の低下により、前年に比べて3.7%減少した。

また、漁労支出は591万円で、油費、漁船・漁具費等の増加により、前年に比べて2.8%増加した。

この結果、漁労収入から漁労支出を差し引いた漁労所得は249万円となり、前年に比べて16.3%減少した。

図1 個人経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合



注： 割合については表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表1 個人経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区分	平成29年	30	対前年差	対前年増減率
	千円	千円	千円	%
漁労収入	8,721	8,398	△ 323	△ 3.7
うち補助・補償金（漁業）	384	349	△ 35	△ 9.1
漁労支出	5,749	5,910	161	2.8
うち雇用労賃	1,195	1,173	△ 22	△ 1.8
油費	890	1,024	134	15.1
減価償却費	679	699	20	2.9
販売手数料	529	501	△ 28	△ 5.3
修繕費	462	481	19	4.1
漁船・漁具費	379	418	39	10.3
漁労所得	2,972	2,488	△ 484	△ 16.3
漁労所得率 (%)	34.1	29.6	△ 4.5	nc
漁獲量 (kg)	15,717	15,908	191	1.2

2 会社経営体（漁船漁業）

1 経営体当たり漁労売上高は3億3,196万円で、漁獲量は増加したものの、価格の低下により、前年に比べて9.8%減少した。

また、漁労支出は3億5,962万円で、労務費、漁船・漁具費等の減少により、前年に比べて5.0%減少した。

この結果、漁労売上高から漁労支出を差し引いた漁労利益はマイナス2,767万円となり、前年に比べて1,728万円マイナス幅が拡大した。

図2 会社経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合

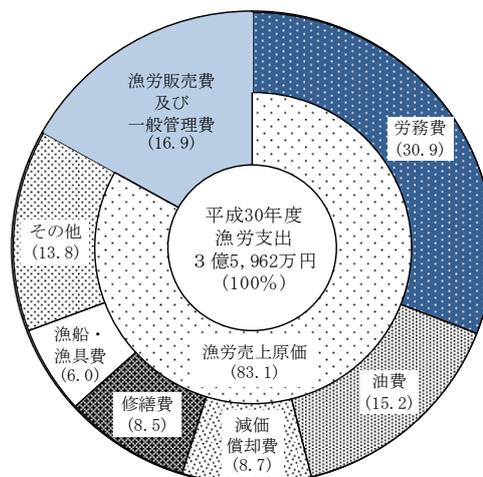


表2 会社経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区 分	平成29年度	30	対前年差	対前年増減率
	千円	千円	千円	%
漁労売上高	368,187	331,956	△ 36,231	△ 9.8
漁労支出 (①+②)	378,576	359,622	△ 18,954	△ 5.0
漁労売上原価 ①	317,904	298,870	△ 19,034	△ 6.0
うち 労務費	121,838	111,054	△ 10,784	△ 8.9
油費	47,110	54,639	7,529	16.0
減価償却費	34,590	31,436	△ 3,154	△ 9.1
修繕費	30,591	30,556	△ 35	△ 0.1
漁船・漁具費	28,520	21,398	△ 7,122	△ 25.0
漁労販売費及び一般管理費 ②	60,672	60,752	80	0.1
漁労利益	△ 10,389	△ 27,666	△ 17,277	nc
漁労外利益	28,541	30,483	1,942	6.8
営業利益	18,152	2,817	△ 15,335	△ 84.5
営業外収益	11,285	14,310	3,025	26.8
営業外費用	5,417	3,921	△ 1,496	△ 27.6
経常利益	24,020	13,206	△ 10,814	△ 45.0
漁獲量 (t)	1,883	2,048	165	8.8